

日本医学会分科会活動報告

一般社団法人日本脈管学会
理事長 古森 公浩

- I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。
 - a. 特に学術的に重要と考えられるもの
 - 1) 各種ガイドラインへの参画
 - 2) Official Journal である脈管学（邦文誌）と Annals of Vascular Disease（英文誌）の出版（後者はアジア血管外科学会や日本血管外科学会との合同事業）
 - 3) 学術集会における JCAA（学会賞）表彰、さらに本年 10 月 63 回日本脈管学会において新しく若手研究者表彰のための“高安右人賞”を設立した。
 - 4) 統合学会としての役割（血管外科、心臓外科、循環器内科、放射線科、病理学、リンパ学、各種脈管関連基礎系研究者の意見交換・情報共有の場の提供）
 - b. 当該領域における国際的な役割
 - 1) International Union of Angiology(IUA)との連携・国際交流活性化
 - 2) IUA Asian Chapter Meeting の開催（2019 年実績および 2021 年実施）
 - c. 活動からもたらされる社会的な意義
 - 1) 脈管専門医の育成
 - 2) CVT（血管診療技師）の育成（日本静脈学会、日本血管外科学会との共同事業）
 - 3) 内保連への診療報酬申請
 - 4) 市民公開講座等、市民への啓発活動
 - d. 学会運営上留意している点
 - ・多様な領域から構成されている統合学会であるため、できるだけ様々な領域からの要望に応えることができるよう留意している。
- II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載してください。
 - 1) 日本血管外科学会との連携：当学会学術総会における日本血管外科学会教育セミナーの開催、Annals of Vascular Disease の共同出版、CVT 育成事業
 - 2) 日本循環器学会との連携：日本循環器学会の末梢動脈疾患ガイドラインや大動脈瘤

ガイドラインへのリエゾン参画、「脳卒中と循環器病克服5カ年計画」の策定

3) 日本ステントグラフト実施基準管理委員会や浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会の委員の抛出